

補問1 (問1.1で2か3をお選びの方に) この場合単なる延命医療を中止するとき、具体的にはどのような時期に中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)

- 1 意識不明の状態となり、そこから回復しないと診断されたとき
- 2 生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき
- 3 わからない

~~問1.2 あなたの家族が高齢となり、脳血管障害や痴呆等によって日常生活が困難であり、さらに、治る見込みのない状態となった場合、どこで最期まで療養させたいですか。(〇は1つ)~~

- ~~1 自宅~~
- ~~2 病院~~
- ~~3 老人ホーム~~
- ~~4 その他(具体的に )~~
- ~~5 わからない~~

問1.2 あなたの家族が高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みのない状態になった場合、どこで最期まで療養させたいですか。(〇は1つ)

- 1 自宅(補問1へお進みください)
- 2 病院(補問2へお進みください)
- 3 老人ホーム(補問2へお進みください)
- 4 その他(具体的に ) (補問2へお進みください)
- 5 わからない(補問2へお進みください)

補問1 (問1.2で1をお選びの方へ) なぜ、自宅で最期まで療養させたいと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 住み慣れた場所で最期を迎えさせたいので
- 2 最期まで自分の好きなように過ごさせたいので
- 3 家族との時間を多くしたいので
- 4 家族に看取られて最期を迎えさせたいので
- 5 病院では本人の望むように最期を迎えられないので
- 6 他の家族や知人が自宅で最期を迎えていたので
- 7 その他

補問2 (問12で1以外をお選びの方へ) あなたはなぜ自宅以外の場所で最期まで療養させたいと思ったのですか。(〇はいくつでも)

- 1 自宅では家族の介護などの負担が大きいから
- 2 自宅ではかかりつけ医など最期を看取ってくれる人がいないため
- 3 訪問看護(看護師の訪問)体制が整っていないから
- 4 自宅で最期を迎えるのは、一般的ではないため
- 5 自宅で最期を迎えるのは、経済的に負担が大きいから
- 6 自宅では、最期に痛み等に苦しむかもしれないから
- 7 自宅では、緊急時に家族が大変になるかもしれないから
- 8 自宅での療養について、家族として希望しないから
- 9 それまでかかっていた病院(施設)の医師、看護師、介護職員などのもとで最期までみてほしいから
- 10 わからない

問13-1 「治る見込みがなく、死期が近いときには単なる延命医療を拒否することをあらかじめ書面に記しておき、~~がんの末期などで実際にそのような状態になり、~~本人の意思を直接確かめられないときはその書面に従って治療方針を決定する。」(リビング・ウィル)という考え方について、あなたはどのようにお考えになりますか。(〇は1つ)

- 1 賛成する(補問1へお進みください)
- 2 患者の意思の尊重という考え方には賛成するが、書面にまでする必要がない(問13-2へお進みください)
- 3 賛成できない(問13-2へお進みください)
- 4 その他(具体的に ) (問13-2へお進みください)
- 5 わからない(問13-2へお進みください)

補問1 (問13-1で1をお選びの方に) 書面による本人の意思表示という方法について、わが国ではどのように扱われるのが適切だとお考えになりますか。(〇は1つ)

- 1 そのような書面が有効であるという法律を制定すべきである
- 2 法律を制定しなくても、医師が家族と相談の上その希望を尊重して治療方針を決定する~~してくれればよい~~
- 3 その他(具体的に )
- 4 わからない

補問2 (問13-1で1をお選びの方に) 死期が近い時の治療方針についての意思について、入院(入所)前、入院(入所)時、あるいは、入院(入所)後に、病院や介護施設(老人ホームなど)等から、書面により患者の意思を尋ねるという考え方についてどのように思いますか。(〇は1つ)

- 1 賛成する
- 2 反対である
- 3 わからない

補問3 (問13-1で1をお選びの方に) 書面に残すとしたら、どの時期が良いと思いますか。(〇は1つ)

- 1 入院(入所)する以前に書面として残したほうが良い
- 2 入院(入所)時に書面として残したほうが良い
- 3 入院(入所)後のある時期に書面として残したほうが良い
- 4 時期は、いつでもかまわない
- 5 わからない

問13-2 このような書面を見せれば、医師はその内容を尊重してくれると思いますか。(〇は1つ)

- 1 そう思う
- 2 そうせざるを得ないと思う
- 3 そうは思わない
- 4 その時の状況による
- 5 その他(具体的に )
- 6 わからない

問13-3 あなたは、この書面を作成した後も、状況の変化等によってあなたの考えが変わった場合、何度でも書き直すことが可能であることをご存じですか。(〇は1つ)

- 1 何度でも容易に書き直すことが可能なことは知っている
- 2 1度書いたら、書き直しは不可能であると思っていた
- 3 1度書いた書面を書き直すことは、重大な理由が必要であると思っていた
- 4 その他(具体的に )

問13-4 事前に本人の意思の確認ができなかった患者の場合、「家族や後見人が延命医療を拒否したら、それを本人の意思の代わりとして治療方針などを決定すればよい」という考え方（代理人による意思表示）についてどう思いますか。（○は1つ）

- |   |              |
|---|--------------|
| 1 | それでよいと思う     |
| 2 | そうせざるを得ないと思う |
| 3 | そうは思わない      |
| 4 | その時の状況による    |
| 5 | その他（具体的に )   |
| 6 | わからない        |

~~補問4 (問13-3で3以外を選んだ方) 代理による意思表示の時、代理として意思表示する人は誰が適当だと思いますか。（○は1つ）~~

- |               |                                    |
|---------------|------------------------------------|
| <del>1</del>  | <del>配偶者</del>                     |
| <del>2</del>  | <del>兄弟姉妹</del>                    |
| <del>3</del>  | <del>子供</del>                      |
| <del>4</del>  | <del>親</del>                       |
| <del>5</del>  | <del>後見人</del>                     |
| <del>6</del>  | <del>家族以外の親しい人（友人など）</del>         |
| <del>7</del>  | <del>主治医</del>                     |
| <del>8</del>  | <del>主治医以外の医師（かかりつけ医等）</del>       |
| <del>9</del>  | <del>病院や介護施設の職員（看護師、介護福祉士など）</del> |
| <del>10</del> | <del>福祉事務所など公的機関に所属する人</del>       |
| <del>11</del> | <del>その他（具体的に )</del>              |
| <del>12</del> | <del>わからない</del>                   |

問13-5 では、あなたは、自分が終末期に明確な意思表示を行うことが困難と思われる場合、事前に治療方針に関する判断をあなた以外の方に任せておくことは可能ですか。

- |   |                  |
|---|------------------|
| 1 | 事前に任せておくことは可能である |
| 2 | 自分で判断したいので任せたくない |
| 3 | わからない            |
| 5 | その他（具体的に )       |

~~問13-4 意思表示の書面がなく、代理人による意思表示がない場合、単なる延命医療が最期まで続けられる可能性があります。それについてどう思いますか。 (○は1つ)~~

- ~~1 家族や親戚など多数の意見に従ってほしい~~
- ~~2 配偶者など最も身近な人の意見に従ってほしい~~
- ~~3 担当する医師の考えで決めてほしい~~
- ~~4 全員一致しなければ、延命医療が継続されてもやむを得ない~~
- ~~5 わからない~~

問13-6 あなたは、自分が終末期に明確な意思表示が示せない場合、治療方針の決定についてどう思いますか。 (○は1つ)

- 1 配偶者など最も身近な人の意見に従ってほしい
- 2 家族や親戚など多数の意見に従ってほしい
- 3 担当する医療・ケアチームが慎重に考えて決めてほしい
- 4 わからない

問14 単なる延命医療を続けるべきか中止すべきかという問題について、医師と患者の間で十分な話し合いが行われていると思われませんか。 (○は1つ)

- 1 十分に行われていると思う
- 2 行われているが不十分であると思う
- 3 行われているとは思わない
- 4 その時の状況による
- 5 その他 (具体的に )
- 6 わからない

問15 あなたは医療に対してどのようなことを望みますか。 (○は1つ)

- 1 自分の病気を治すことができるよう、可能な限りの医療を受けたい
- 2 病気をもちながらも自分の生活を優先させることができるよう生活を支えてくれる医療を受けたい
- 3 その他 (具体的に )
- 4 わからない

【フェースシート】

最後に、あなたご自身のことについて、もう少しお伺いします。

〔性別〕

1	男性	2	女性
---	----	---	----

〔年齢〕

1	20～24歳	7	50～54歳
2	25～29歳	8	55～59歳
3	30～34歳	9	60～64歳
4	35～39歳	10	65～69歳
5	40～44歳	11	70歳以上
6	45～49歳		

〔学歴〕 あなたが最後に卒業された学校はどちらですか。（中退、在学中も卒業とみなします）

1	中学（小・高小含む）
2	高校（旧中含む）
3	大学（旧高・高専含む）
4	不明

〔職業〕 あなたのご職業は何ですか。

1	自営業
2	勤め（パート、アルバイトを含む）
3	無職（学生、専業主婦を含む）

〔入院〕 あなたやご家族の方で、最近5年間に病気やけがで入院したことがある方はいらっしゃいますか。次の中からお選びください。(○は1つ)

- |   |              |
|---|--------------|
| 1 | 自分が入院した      |
| 2 | 家族が入院した      |
| 3 | 自分、家族ともに入院した |
| 4 | その他(具体的に )   |
| 5 | わからない        |
| 6 | 入院したものはいない   |

〔死別の経験〕 あなたは、最近5年間に身近な大切な人の死を経験されましたか。(○はいくつでも)

- |   |         |   |          |
|---|---------|---|----------|
| 1 | 家族を亡くした | 3 | 友人を亡くした  |
| 2 | 親戚を亡くした | 4 | 経験をしていない |

ご協力ありがとうございました。

(案)

平成19年度  
終末期医療（生活を支える医療）に関する調査

(医師対象)



問1 最近、終末期医療に関して「安楽死」「尊厳死」「リビングウィル（書面による生前の意思表示）」などの問題が話題になっていますが、あなたはこれらに関心がありますか。（○は1つ）

- 1 非常に関心がある
- 2 まあ関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 ほとんど（全く）関心がない

補問（問1）

（問1で1か2をお選びの方に）あなたは、「安楽死」、尊厳死」、「リビングウィル」などの終末期に関する問題に関して、自分自身がどの程度知っているとお考えですか。（○は1つ）

- 1 よく知っている
- 2 詳しくはないが、まあ知っている
- 3 あまり知らない
- 4 ほとんど（全く）知らない

問2 あなたご自身が治る見込みがない病気に罹患した場合、その病名や病気の見通し（治療期間、余命）について知りたいとお考えになりますか。（○は1つ）

- 1 知りたい（補問へお進みください）
- 2 知りたくない（問3へお進みください）
- 3 わからない（問3へお進みください）

補問（問2で1をお選びの方に）この場合、病名や病気の見通しについて直接担当医師から説明を受けますか。（○は1つ）

- 1 受ける
- 2 家族に聞いてもらい、その話しを聞く
- 3 その他（具体的に）

~~問3-1 あなたご自身が痛みを伴い、しかも治る見込みがなく、非常に死期が迫っている（1ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定）と告げられた場合、心肺蘇生措置についてどのようにお考えになりますか。（○は1つ）~~

- ~~1 心肺蘇生措置は続けられるべきである~~
- ~~2 心肺蘇生措置はやめたほうがよい~~
- ~~3 心肺蘇生措置はやめるべきである~~
- ~~4 わからない~~

~~※ ここでいう心肺蘇生措置とは死が迫った時に行われる以下の行為を指すものとします。~~